



平成17年11月18日 第34回東海地区浄土宗吉水講詠唱大会
豊田市民文化会館で成果発表をする普仙寺吉水講員

第34回東海地区浄土宗吉水講詠唱大会

去る11月18日、第34回詠唱東海大会・第35回詠唱三河大会に参加し、「十夜和讃」をお舞をつけて発表しました。

舞

西郷 嘉寿美、鈴木 好江、加藤 桂子

詠題

岡田 里見

お唱え

谷山 好江、鈴木 扶身、神山 和子、杉浦 志づゑ、岡田 さとえ、
岡田 命恵、谷山 八千代、鈴木 とめ、白井 勝子、黒柳 花子、
牧野 せい子、牧野 まつゑ、牧野 恵子、西郷 信代、加藤 良子、
小林 みち子、神山 盛二、岡田 チエコ、藤田 みち枝、杉本 かつ、
杉浦 幸子

(敬称略)

800年前の法然上人

今から800年前、元久2年（西暦1205年）12月8日の日付のある、法然上人のお詠みになられたとされる和歌が記録されています。

以下に示します。

1) 春

さへられぬ光もあるをおしなべてへだて顔なる朝がすみかな

2) 夏

われはただ仏にいつかあふひ草心のつまにかけぬ日ぞなき

3) 秋

阿弥陀仏に染むる心の色にいでば秋のこずゑのたぐひならまし

4) 冬

雪のうちに仏の御名を唱ふれば積れる罪ぞやがて消えぬる

5)

仏法に会ひて身命を捨つといへる事を

かりそめの色のゆかりの恋にだにあふには身をも惜しみやはする

6) 勝尾寺にて

柴の戸に明け暮れかかる白雲をいつ紫の色に見なさん

7)

極楽往生の行業には余の行を差し置きて、ただ本願の念仏を勤むべしといふ事を

あみだぶといふより外は津の国のなにはの事もあしかりぬべし

8)

極楽へつとめて早く出で立たば身のをわりには参りつきなん

9)

阿弥陀仏と心は西にうつせみのもぬけ果てたる声ぞ涼しき

10)

光明遍照十方世界念仏衆生攝取不捨の心を

我がこころ池水にこそ似たりけれ濁りすむことさだめなくして

1 1)

三心の中の至誠心の心を

往生はよにやすけれど皆人の誠の心なくてこそせね

1 2)

睡眠の時十念を唱ふべしといふ事を

あみだぶと十こゑ唱へてまどろまん長きねぶりになりもこそすれ

1 3)

上人手づから書きつけたまへりける

ちとせふる小松のもとをすみかにて無量寿仏の迎へをぞ待つ

1 4)

おぼつかなたれかいひけん小松とは雲をささふる高松の枝

1 5)

池の水人の心に似たりけり濁り澄む事さだめなければ

1 6)

生まれてはまず思ひいでんふるさとに契りし友の深きまことを

1 7)

阿弥陀仏と申すばかりをつとめて浄土の莊嚴見るぞうれしき

元久2年12月8日

源空

[案内] 総本山知恩院伝宗伝戒道場満行式と御身拭式

浄土宗の僧侶には一生に2回の籠行（おこもり）があります。

第1回目の籠行（おこもり）を伝宗伝戒道場（でんしゅうでんかいどうじょう）といいます。

お身拭式（おみぬぐいしき）とは知恩院大殿の法然上人の御像を、御門跡自ら拭かれる式です。

日時

平成18年12月25日（日）

集合場所

豊橋駅新幹線改札前

集合時間

午前7時15分

日程

午前7時29分 新幹線こだま号乗車
午前9時30分 伝宗伝戒道場満行式
午前11時 大殿日中法要
正午 昼食
午後1時 お身拭式
午後4時17分 京都駅より新幹線乗車
午後5時50分 豊橋駅着・解散

申込締切

12月20日までに、所定の申込用紙に必要事項を書いて普仙寺へ

費用

- 知恩院参拝費1000円
 - 新幹線京都往復13,640円
- ※JR東海ジパング会員の方は個人で購入下さい。

書道展

住職の書道の先生である関屋町善忠院前住職奥田恒彦上人が主宰する書道グループ「善友会」の書道展。住職加藤良光も出品します。

期間

12月13日～18日
午前10時より午後6時（最終日は4時まで）

開場

札木町「札木画廊」

寺行事案内

土曜礼拝（どようらいはい）

毎週土曜日 午前8時30分～9時

礼拝を含むお勤めです。本家、新家の別なく、どなたでもお参り下さい。

◇内容

1. 浄土日常勤行式
2. 法然上人御法語拝読
3. 住職の法話

◇法然上人御法語の予定

12月10日からは

- 後編第4章 特留此経
- 後編第5章 無上功德
- 後編第6章 念仏付属
- 後編第7章 助正分別

浄焚式 (じょうぼんしき)

12月31日(土) 午後9時より

古い塔婆・位牌・お札等お焚き上げします。

除夜の鐘 (じょやのかね)

12月31日(土) 午後11時30分より

参加者は全員撞くことができます。

修正会 (しゅしょうえ)

平成18年1月1日(日) 午前8時30分～9時

年頭のお勤めです。

参拝の方には元旦朱印と招福茶を差し上げます。

月並法要 (つきなみほうよう)

平成18年1月8日(日) 午後7時より

年回忌の祥月にあたる方のご回向をいたします。

住職説教 (じゅうしょくせっきょう)

平成18年1月25日(水) 午後7時～8時

この日は、浄土宗の開祖法然上人の祥月忌日です。法然上人は建暦2年(1212)の正月25日の正午、大谷の禅房(現在の知恩院勢至堂の場所)にてご往生なされました。お年は、お釈迦様と同じ80歳でした。法然上人のご生涯を普仙寺本堂に掛けた絵伝を指しながらお説教させていただきます。

平成18年は2月25日(土) 午前11時～午後3時です。